

横浜合唱協会 第72回定期演奏会

J.S. バッハ
Johann Sebastian Bach

ヨハネ受難曲

Johannes-Passion BWV245

指揮：柳嶋 耕太

福音史家：藤井 雄介

イエス：小笠原 美敬

ソプラノ：中山 美紀

アルト：小川 明子

テノール：小沼 俊太郎

ピラト・バス：小池 優介

管弦楽：プロムジカ使節団

合唱：横浜合唱協会

2023年 3月18日(土) 13:30開演 12:30開場

ミューザ川崎シンフォニーホール

S席：4,000円/A席：3,000円/B席：1,500円/学生席：1,000円(全席指定)

主催：横浜合唱協会 Yokohama Choral Society

聖トーマス教会カントル着任後、最初の聖金曜日に演奏した意欲作。
ヨハネ福音書の受難の場面を劇的表現で綴り、最後はイエスの安息を
祈る合唱から復活を願うコーラルへ続きます。



藤井 雄介 福音史家 Yusuke Fujii

大分県大分市出身。広島大学教育学部音楽科卒業後、東京藝術大学音楽学部声楽科を経て、同大学院修士課程および博士課程修了。バッハ《ヨハネ受難曲》《マタイ受難曲》、ヘンデル《メサイア》、モーツァルト《レクイエム》など主に宗教的声楽作品のソリストを多数務める。バッハ・コレギウム・ジャパンでは、ソリスト・声楽メンバーとして国内外の多数公演および録音に参加。現在、広島文化学園大学学芸学部音楽学科准教授。



小笠原 美敬 イエス Yoshitaka Ogasawara

東京藝術大学大学院修了。故・小笠原克美、高橋大海、マックス・ファン・エグモント、ノーマン・シェトラ、ペーター・コイの各氏に師事。平成14年度文化庁芸術家在外研修員。Collegium Vocale Gent、Rheinische Kantorei、Ricerca Consort、Bach Collegium Japanなどの古楽アンサンブルに参加。"ラ・フォンテヴェルデ"ペアータ・ムジカ・トキエシス各メンバー。声楽アンサンブル・オリエンタル音楽監督、混声合唱団コール・ヴォンネ、鹿児島ズィング・アカデミー各指揮者。



中山 美紀 ソプラノ Miki Nakayama

東京藝術大学卒業、同大学院独唱専攻修了。卒業時にアカンサス音楽賞及び同声会賞を受賞。国際古楽コンクール《山梨》最高位、他多数入賞。主に宗教曲を活動の軸とし、多くのソプラノソロを務める。オペラでは古楽アンサンブル アントネッロ主催《ジュリオ・チェザレ》クレオパトラ役で本格デビュー、読売・朝日新聞各紙で高く評価された。バッハ・コレギウム・ジャパンメンバー。https://nakayamamiki.com



小川 明子 アルト Akiko Ogawa

東京藝術大学卒業、同大学院修了。オペラ研修所第10期修了。第61回日本音楽コンクール第2位。第4回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位および山田耕作賞受賞。1997年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてウィーンに留学。宗教曲や第九、マーラーの交響曲などのソリストを務める。近年は日本歌曲にも力を注ぎ「海ゆかば 信時潔歌曲集」など10枚のCDをリリース。YouTube「小川明子の声楽講座」も発信中。二期会会員。



小沼 俊太郎 テノール Shuntaro Konuma

北海道出身。尚美学園大学声楽コース卒業。同大学院修了。声楽を丸角裕氏に師事。これまで数多くのオペラに出演、宗教曲のソリスト、オラトリオの福音史家などを務める。サンピエトロ大聖堂で行われた、日本バチカン修好75周年記念ミサにおいて、三枝成彰氏作曲によるレクイエムのソリストを務める。Icola chamber Choirなどのアンサンブルに所属。サウンド・パーティクルス主宰。東京混声合唱団団員。



小池 優介 ピラト・パス Yusuke Koike

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同声会賞、アカンサス賞を受賞。同大学、音楽研究科声楽専攻を首席で修了し、大学院アカンサス音楽賞を受賞。これまでに勝部太、川上洋司、萩原潤の各氏に師事。ドイツリートを白井光子氏に師事。ドイツリートや宗教曲のバスソリストとしての演奏経験を多く持つ。バッハ・コレギウム・ジャパン声楽メンバー。



柳嶋 耕太 指揮 Kota Yanagishima

2011年に渡独。マンハイム音楽・表現芸術大学指揮科合唱専攻を経て、ザール音楽大学指揮科合唱指揮専攻を卒業。2013年度ドイツ連邦教育研究省奨学生。学内や地域での合唱指導で研鑽を重ね、2015年にはドイツ若手指揮者の登竜門であるドイツ音楽評議会・指揮者フォーラム研究員に日本人として初めて選出され、同時にCarus出版より"Bach vocal"賞を授与される。以来、ベルリン放送合唱団、北ドイツ放送合唱団、ザールブリュッケン室内合唱団をはじめとするドイツ国内各地の著名プロ/セミプロ合唱団を指揮。合唱指揮をゲオルク・グリュン、指揮を上岡敏之の各氏に師事。2017年10月に完全帰国。vocalconsort initium、室内合唱団vox alius、Chor OBANDES、東京ユヴェントス・フィルハーモニー合唱団、こたいら合唱団など多数の合唱団で音楽監督、常任指揮者を務める。帰国直後からの指導を経て、2018年6月より横浜合唱協会指揮者に正式就任。

プロムジカ使節団 管弦楽 Promusica Baroque Academy

チェンバロ・通奏低音奏者の圓谷俊貴により創設されたアカデミックでプロフェッショナルなオーケストラ。国内外で活躍するオリジナル楽器奏者で構成される。《文明開花》公演、ヘンデル《メサイア》公演、シュッツ没後350年記念公演など意欲的な主催公演がいずれも好評を博す他、自社(プロムジカ・コンティヌオ株式会社)による映像制作とのタイアップなど多角的に活動を展開し、これからの日本古楽界を牽引すべく奔走する注目の団体である。

- (フルート) 野崎 真弥、岩井 春葉 (オーボエ) 荒井 豪、佐治 みのり
(ファゴット) 河府 有紀 (コントラファゴット) 長谷川 太郎
(ヴァイオリン) 池田 梨枝子、秋葉 美佳、天野 寿彦、遠藤 結子、廣海 史帆、藁田 真理、山内 彩香
(ヴィオラ) 深沢 美奈、山口 真 (チェロ) 山本 徹、山田 慧 (コントラバス) 高本 ショーン 知弥
(オルガン) 圓谷 俊貴 (チェンバロ) 石川 友香理 (リュート) 瀧井 レオナルド
(ヴィオラ・ダ・ガンバ) 深沢 美奈



横浜合唱協会 合唱 Yokohama Choral Society

J.S.バッハの声楽作品の本格的な演奏を目指し1970年に発足。バロックからロマン派のドイツ合唱音楽を中心に、近・現代の作品にもレパートリーを広げている。バッハから数えて16代目のカントルを務めたライプツィヒ聖トーマス教会の故G.C.ピラー氏との交流は20年以上におよび、4度のドイツ演奏旅行では聖トーマス教会での演奏を実現することができた。現在もアマチ・ムジケ・ライプツィヒとの交流を続けている。毎週土曜日に、柳嶋耕太氏の指導とピアノ三好すみれ氏のサポートを得て「演奏者全員が心から楽しめる音楽体験となる稽古」をめざして集まっている。



ミュージア川崎へのアクセス



MUZA KAWASAKI SYMPHONY HALL

〒212-8557 神奈川県川崎市幸区大宮町1310
Tel.044-520-0100 (代)
JR川崎駅西口直結
JR川崎駅中央改札より徒歩3分
京急川崎中央口改札より徒歩8分

チケット取り扱い



https://teket.jp/1174/15979



こちらからチケット専用ページにアクセスできます。2023年1月4日より一般販売開始。(演奏会当日まで購入できます。)

- やむを得ない事情により、出演者の変更になる場合がございます。出演者変更に伴う払い戻しはございません。
●各種感染予防ガイドラインに従って運営いたします。●ホール内での許可のない写真撮影、録音、録画は固くお断り申し上げます。●感染対策の一環としてチケット購入時に掲載した個人情報(年齢)は厳重に取り扱い、後日適切な方法で破棄致します。